

掛時計

電波クロック

取扱説明書

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますよう、
お願い申し上げます。

- ・この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・この取扱説明書の内容は実際の表示と異なる場合があります。
- ・本製品によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。
- ・この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

付属品 ご使用前に確認してください。

- 使用前に確認してください。
- チラシ 1枚 ● 保証書 1枚
- モニター電池 (単2形乾電池 2個)
- 木ねじ 1本 (厚い木の壁・木の柱専用)
- 石膏ボード用掛け具 (掛金具 1個、銀5本 (うち1本は予備))
- 製品のお取扱いに関する重要なお知らせ 1枚

※付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様書の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。

必ずお守りください。安全上のご注意

警告 死亡または重傷を負う恐れがある内容

<アルカリ電池について>

- (1) 充電、ショート、変形、分解、加熱、火中に投入などをしないでください。液漏れや発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、目に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<付属部品(木ねじ、掛け具)について>

木ねじや掛け具などは、幼児の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

<梱包用ポリ袋について>

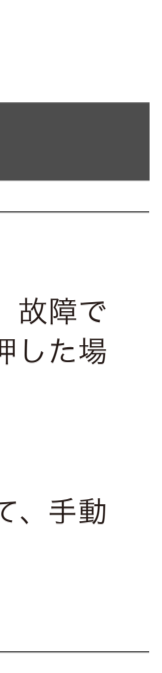
窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

注意 けがをしたり家財に損害を与える恐れがある内容

<掛け方について>

本製品の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、本製品の重さに充分耐えられる掛け具をお選びください。ご使用の際は、同梱の「製品のお取扱いに関する重要なお知らせ」も必ずお読みください。記載された場所以外に取り付けられる場合は、建築メーカーなどに相談ください。
※掛け具に本製品を掛けた際、本製品を上下左右、そして手前に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

厚い木の壁・木の柱に掛けるとき	付属の木ねじをご使用ください。
石膏ボードの壁に掛けるとき	付属の掛け具 (掛金具、釘) をご使用ください。 付属の木ねじは使用しないでください。
コンクリートなど、上記以外の壁や柱に掛けるとき	市販の木ねじ・掛け具は使用しないでください。 市販の掛け具を使用する場合は、正しい掛け方ができない場合があります。上記の「掛け方について」をよくお読みのうえ、本製品に適合した掛け具をご使用ください。



製品の設置場所について

落下の恐れがある場所や、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には本製品を設置しないでください。

<注意事項について>

下記注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂により、本製品の故障やけがの恐れがあります。

- (1) 製品仕様書に記載された電池寿命を経過した場合は、本製品がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、本製品を使用しないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、寿命の切れた電池からの液漏れなどにより、本製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (2) 電池は必ず(+)側を入れてください。また、(+)、(-)を正しく入れてください。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 本製品が動かないなどの場合、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布で乾かしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買い上げ後、製品仕様書の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 付属電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<分解や改造について>

本製品を分解したり、改造したりしないでください。本製品の故障やけがの恐れがあります。本製品の自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

必ずお読みになってからご使用ください。

■ 使用上のご注意

- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。リセットボタンを押した場合は、時刻などがリセットされます。
- 本製品は日本標準電圧仕様のため、海外では電圧修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。
- 海外でご使用の場合も日本の電圧を受信することがあります。その場合は自動受信を止めて、手動で時刻を合わせてください。

■ 使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。本製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。

また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
(例) 屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。
プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。
空気中に舞上がったちり・ほこりが歯車や接点に挟まり、時計が止まる場合があります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁気の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まる場合があります。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。
- ビニール系素材の壁、動物などの上。
- 壁や天井、および本製品が汚れたら、速に掃除してください。
- 温度や湿度の変化が激しい所。

寒い所から暖かい所への移動などにより、結露が生じることがあります。

● 木枠の製品の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が歪むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電線の架線の近く
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害が起きやすい所
- 乗り物の中 (自動車、電車、飛行機など)
- スチール机など、金属製の家具の上や近く
- その他、電波ノイズを生じさせるもの近く

※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。

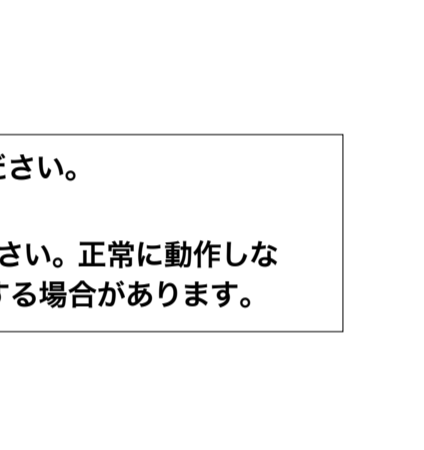
電波クロックについて

■電波時計/電圧修正機能とは
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。

■標準電波とは
情報通信研究機構 (NICT) が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ「原子時計」によるものです。

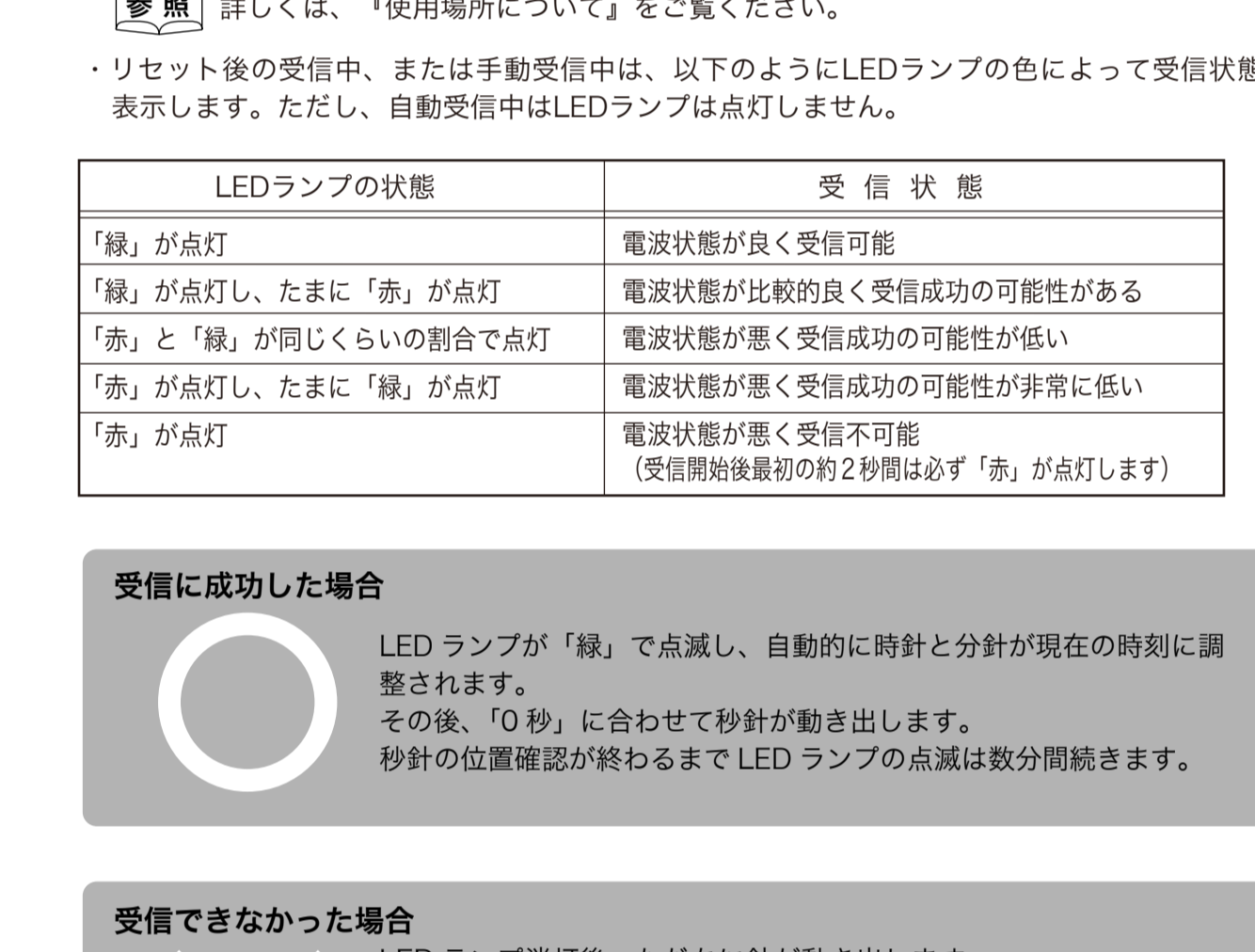
■電波受信について
標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、この製品は(東・西2カ所)からおおよそ1000km~1200kmです。この製品は40kHz (東・福島送信所)、60kHz (西・九州送信所) のいずれかを受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって受信できない場合があります。

■ご注意
● 電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
● 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で動作します。
● 標準電波は、毎月15分と45分かつ各10分間の一部で時刻情報が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止 (停波) することがあります。停波に関する情報は、情報通信研究機構日本標準電波グループのホームページをご覧ください。
(ホームページアドレス <https://jij.nict.go.jp/>)



ご使用方法

■ 各部の名称



※時計のデザイン、電池やボタンの位置などが異なる場合があります。

■ ご使用方法

1 電池を入れる (単2形乾電池 2個)

本体裏面の電池ボックスに、(→)側から電池を入れてください。

- 電池の(+)、(-)側を間違えないように注意してください。
- 種類や電圧の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

2 リセットボタンを押す

受信を開始し、現在の時刻に調整されます。
・針が下記の時刻のいずれかで一時停止し、電波の受信を開始します。
(1時50分、3時10分、5時50分、6時10分、8時30分、9時10分、11時10分、12時10分の各0分)

重要 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

※リセットボタンは先の細いもので押しください。
※夜間は昼間よりも受信状態が良くなります。昼間に受信できなかった場合でも、翌日までに自動受信できることがあります。

【参照】詳しくは、『使用場所について』をご覧ください。

・リセット後の受信中、または手動受信中は、以下のようにLEDランプの色によって受信状態を表示します。ただし、自動受信中はLEDランプは点灯しません。

LEDランプの状態	受信状態
「緑」が点灯し、たまに「赤」が点灯	電波状態が良く受信可能
「赤」と「緑」が同じくらいの割合で点灯	電波状態が比較的良好に受信成功の可能性はある
「赤」が点灯し、たまに「緑」が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
「赤」が点灯し、たまに「赤」が点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
「赤」が点灯	電波状態が悪く受信不可 (受信開始後最初の約2秒間は必ず「赤」が点灯します)

受信に成功した場合
LEDランプが「緑」で点滅し、自動的に時計と針が現在の時刻に調整されます。
その後、「0分」に合わせて秒針が動き出します。
秒針の位置確認が終わるまでLEDランプの点滅は数分間続きます。

受信できなかった場合
LEDランプ消灯後、ただちに針が動き出します。
このとき、時刻修正は行いません。
【参照】その後の「機能」の『電波を受信できなかった場合』の手順に従ってください。

【受信結果の確認方法】

通常のご使用中にAボタンを1回押すと (2秒以下)、以下のようにLEDランプの色によって、電波の受信結果が表示されます。

「緑」が点滅	過去24時間以内に受信に成功しています。
「赤」が点滅	過去24時間以内に一度も受信できていません。

3 チャイムと数取りを設定する

操作部の切替スイッチA、Bで設定してください。スイッチの位置により、下記のような設定になります。

	常時(1日中)鳴らす	暗時鳴止め	常時(1日中)鳴止め
15分毎に鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす
チャイムと数取り	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす
数取りのみ	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす	暗時鳴止め 鳴止め ↓ 常時 鳴らす

切替スイッチAを「暗時鳴止め」にすると、暗いところでは報時をしません。チャイムや数取りの音を気にすることなくおやすみいただけます。
※切替スイッチBを「常時鳴らす」にすると、暗いところでも報時します。

4 音量を調節する

操作部のボリュームつまみをまわして、音量を調節してください。

- ・MINの方向に回すと、音量が小さくなります。
- ・MAXの方向に回すと、音量が大きくなります。

5 本製品を設置する

本製品を、使用したい場所に掛けてください。
※窓際など、できるだけ電波を受信しやすい場所に掛けてください。

【参照】付属の「製品のお取扱いに関する重要なお知らせ」に従って、本製品を正しく掛けてください。

その他の機能

■ 電波を受信できなかった場合

手動で電波を受信して時刻を合わせる

- ① Aボタンを長く押す (約2秒)
LEDランプの「赤」が点灯するまで (約2秒) 押し続けると、秒針が停止し、受信を開始します。受信に要する時間は、最長約20分です。
受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えて、もう一度受信させてください。

手動で時刻を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

- ① Bボタンを長く押す (約2秒)
秒針が「12時の位置」で停止します。
- ② Aボタンを押して時刻を合わせる
ボタンを押すごとに、分針が1分進みます。
ボタンを押し続けると、ボタンを放すまで分針が進み続けます。
- ③ Bボタンを押す
ボタンを押すと同時に、秒針が動き出します。

■ 自動受信について

毎日、午前2時に自動的に電波を受信します。
以後は3時間ごとに自動で電波の受信を繰り返します。
・受信中 (最長約20分) は針が不規則に動きをすることがあります。(故障ではありません)

秒針	12時の位置で停止
分針	約30秒ごとに連打

自動受信を止めたい場合

海外で使用する場合や、時刻をずらして使用したい場合は、自動受信を止めてください。

- ① 電池を入れてリセットボタンを押した後に、AボタンをLEDランプが点滅を始めるまで (約7秒) 押し続ける

・秒針が「12時の位置」で停止後、時計と分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止します。
(1時50分、3時10分、5時50分、6時10分、8時30分、9時10分、11時10分、12時10分の各0分)

- ② 『手動で時刻を合わせる』の手順に従って時刻を合わせる
・この機能を設定した後もAボタンをLEDランプの「赤」が点灯するまで (約2秒) 押し続けると手動受信を開始しますが、その後自動受信はしません。
・この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。
※通常ご使用の状態を自動受信を止めるには、AボタンをLEDランプの「赤」が点灯し、その後消灯するまで (約7秒) 押し続けてください。

■ 光センサーによる自動鳴り止め機能について

切替スイッチAを「暗時鳴止め」にすると、暗いところでは報時をしません。チャイムや数取りの音を気にすることなくおやすみいただけます。
※切替スイッチBを「常時鳴らす」にすると、暗いところでも報時します。

■ 光センサーによる自動秒針停止機能について

光センサーによって本製品の周囲の明るさを検出し、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。明るくなると、「0分」に合わせて秒針が動き出します。
※秒針が停止している間は、時計と分針は正しい時刻を表示し続けます。
※切替スイッチAを「常時鳴らす」にすると、暗いところでも秒針は止まりません。

■ モニター機能について

モニターボタンを押すと、時刻に関係なくいつでもチャイム+数取り3回を行います。
※試し鳴らしを途中で止めるときは、操作部の切替スイッチAを一旦「常時鳴らす」または「暗時鳴止め」に合わせて「鳴止め」にしてください。
※手動受信中は試し鳴らしができません。

■ 受信中・報時中の操作について

受信中・報時中の操作は下記のようになります。

動作	操作	鳴止め (切替スイッチA)	鳴止め (モニター)	手動受信	受信結果表示
報時中	チャイム(数取り)が止まる	チャイムを演奏する	チャイムを演奏する	受信を開始する	受信結果を表示する
試し鳴らし中	チャイム(数取り)が止まる	チャイムを演奏する	チャイムを演奏する	無効	受信結果を表示する
自動受信中	—	—	チャイムを演奏する	受信を中断する	受信結果を表示する
手動受信中	—	—	無効	—	無効

お手入れについて

- プラスチック製の製品の場合
本体を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾かしてください。

木枠・金属製の製品の場合

- 汚れやほりを取るときは、やわらかい布で乾かしてください。

※お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

故障がな?と思ったらときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置
針が動かない	・電池が入っていない ・電池の容量が少なくなっている ・電池が正しい向きに入っていない	・新しい電池を、向きを確かめながら入れて、リセットボタンを押してください。 ・電池を正しく入れ直して、確実にリセットボタンを押してください。
針が不規則に動く	・電池の受信中、または時刻修正中である	・受信終了後、通常の動作に戻ります。
秒針が「12時の位置」で停止している	・自動秒針停止機能が作動している ・電池の容量が少なくなっている	・室内が明るくなると秒針が動き出します。 ・受信が終了すると秒針が動き出します。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れて、リセットボタンを押してください。
ボタンやスイッチの操作が効かない	・電波の受信に成功し、時刻の修正中である ・リセット後の、電波の受信中である	・時刻の修正動作が終了してから、再度ボタンやスイッチを押してください。
時刻が合っていない	・電池の容量が少なくなっている	・『電波を受信できなかった場合』を参照し、再度受信させてください。
報時しない	・きちんとリセットされていない ・切替スイッチAが「鳴止め」になっている ・切替スイッチAが「暗時鳴止め」になっている状態で、室内が暗くなり光センサーが作動している ・音量が小さくなっている ・電池の容量が少なくなっている	・リセットボタンを確実に押してください。 ・切替スイッチAを「常時鳴らす」または「暗時鳴止め」にしてください。 ・室内が明るくなるまで待機します。室内が暗くなると報時させたい場合は、切替スイッチAを「常時鳴らす」にしてください。 ・ボリュームつまみをMAXの方向に回してください。 ・新しい電池を、向きを確かめながら入れて、リセットボタンを押してください。

製品仕様 改良のため予告なく変更する場合があります。

- 時間精度: 平均月差±20秒
(電圧修正による時刻修正を行わない場合・気温5℃~35℃で使用した場合)
- 使用温度範囲: -10℃~50℃
- 音 量 階 級: 無段階式
- 使用電池: 単2形乾電池 2個
- 電池寿命: 約1年
単2アルカリ乾電池 (LR14) を2個使用時
※切替スイッチBが「正時チャイム」に設定され、1日あたり、音量「中」の状態での報時を16回行った場合

- 受信機能: ・自動受信… 毎日午前2時~以後3時間ごとに受信 (受信が次の受信までがクォーツの精度で動作)
・手動受信… ボタン操作による2つの電波 (40kHz/60kHz) のうち最適な電波を選択し、受信します。
- 報時: ①~③の切替式
①クォーツミスター・チャイム+数取り
②クォーツミスター・チャイムの四声打ち (正時には数取りも行います)
③正時チャイムのみ
- 受信結果確認機能: ボタン操作により、LEDランプで表示
- 時刻合わせ機能: 電波受信による自動セット または手動セット
- 光センサーによる自動秒針停止機能:
切替スイッチAが「暗時鳴止め」または「鳴止め」の場合、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。
- 光センサーによる自動鳴り止め機能:
切替スイッチAが「暗時鳴止め」の場合、暗くなると報時を停止します。

※指針 (針の表示) 誤差について: 構造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。
※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

保証・アフターサービス

- 本製品はメーカー保証です。保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、修理品がお客様の預かりし、メーカーが無料で修理いたします。
- 必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 本製品の修理用品は製造終了後7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用品とは製品の機能を維持するために不可欠な製品本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様に負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。販売店が保証が受けられない場合は、クロックお客様相談室にご相談ください。

● お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。

● ご不明な点は、クロックお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせについて

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明な点がありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号 (品番) をご確認ください。下記クロックお客様相談室にお問い合わせください。

(例: RX○○○、BC○○○、KX○○○など)

クロックお客様相談室 0120-315-474

<https://www.seikowatches.com/jp-ja/>

発売元

セイコーウォッチ株式会社